

大会出場選手・道着コード【服装規定】

今大会に参加する選手は下記の服装規定を遵守して試合に臨んで下さい。不適と判断された場合、失格となる場合がありますのでご注意ください。

【道着】 ※下記写真 I・II 参照

1. 新極真会所属選手については、ワッペンなどの縫付や流派名以外の刺繍がない公認道着を着用してください。（記念道着／ユースワッペン／ネーム刺繍は除く。ただしユースワッペンについては直近の選抜選手のみとする）

該当箇所を白布などで隠しての参加は認められます。なお、新極真会以外の流派の選手は対象外とし、所属流派を示す刺繍やマーク、ワッペン類の有無は問いません。

2. 道着の袖の長さは肘が隠れる程度を目安とし、袖なし道着は認められません。なお、袖の折り返しについては規制しませんが（但し、折り返しても上記の長さが維持できること）、スポンサーとの契約により、肩口ロゴを隠すことは禁止します。

3. スムーズな試合進行の為、男女共に帯はしっかりと結んでください（帯止めの使用は任意）。

【赤紐（赤帯）】 ※下記写真 III 参照

1. 試合の紅白を示す赤紐（赤帯）は各自準備とし、貸出はいたしません。

2. 試合中に取れることがないよう、腰に廻して帯の上からしっかりと蝶結びで結び、結び目が背面に来るようにしてください。

蝶結びができない長さは不適格と判断されますのでご注意ください。

（但し、以下の基準商品でも結ぶことができない体格の場合は別途協議します）

3. 基準商品は以下の通りとします。

①は各メーカー、②は所属支部道場、③は新極真会オフィシャルショップで購入可能です。

《イサミ社製》

① 赤ヒモ 品番 P-10

② 新極真会公認 赤帯（120 c m／150 c m／200 c m）

《マーシャルワールド社製》

① 標識紐（赤） 品番 JH21

② 新極真会公認 赤帯単品（S・M・L）

③ 新極真会公認 赤帯セット（S・M・L）※赤マークとセット

写真Ⅰ	写真Ⅱ	写真Ⅲ
		

【インナーTシャツ（女子選手のみ）】

1.女子選手が道着内に着用する T シャツは道着同様に純白とし、プリントや柄のないものを着用してください。

なお、メーカーロゴ等のワンポイントのプリントも不可となりますのでご注意ください。

【刺青対応】

1.刺青などがある場合は同様の T シャツを着用した上で、前腕やくるぶし等の露出する部分については、肌同色のテーピングテープ（例：キネシオテープ）等で覆い隠すようにしてください。

なお、その場合は選手受付の際に自己申告の上、大会本部の承認を得るようにしてください。

【頭髪その他】

1.頭髪の染色・脱色（茶髪・金髪）や剃り込み、ピアス・ミサंगा等は禁止します。

逸脱している選手については選手受付時に注意勧告し、出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。

2.長髪の選手は髪が乱れないようにゴム等で結び、短くまとめてください。競技中、束ねた髪が対戦選手に当たる等して攻防の妨げにならないよう十分注意してください。なお、スカーフ、バンダナ等の着用は禁止です。

3.爪は短く切って試合に臨んで下さい（つけ爪、ジェルネイル不可）。また、女子選手は事前にメイクを落としてください。

4.女子選手のスパッツは丈の長いもの（大腿部を保護するとみなされるもの）は不可とします。

【ゼッケン・肩口ロゴ】 ※下記写真 IV・V 参照

1.試合中に取れることのないよう、しっかり白糸で縫い付けてください。

(ゼッケンとは道着背面中央部分、帯下は不可／肩口ロゴは道着右肩口)

す。万が一取れた場合は次の試合までに必ず縫い付けてください（ソーイングキットは各自準備）。

スポンサーとの契約により、受付時にゼッケン及び肩口ロゴが取れたままでの試合出場は認められません。

また、道着の袖を折り返して肩口ロゴを隠す事も禁止します。

なお、今大会ではゼッケン及び肩口ロゴの縫付チェックを受付・計量時に行います。

不適と判断された場合は再度縫い付けての出場が義務付けられますのでご注意ください。

写真Ⅳ	写真Ⅴ
	